

# 液晶を利用した電子共役ポリマーの合成と超階層制御および新機能発現

プロジェクト代表：赤木 和夫（高分子化学専攻）

## 本研究プロジェクトの目的と主要構成員

### 本研究プロジェクトの目的

- キラル液晶を反応場として利用する不斉重合により、ポリアセチレンを始めとする種々のポリマーにキラリティやヘリシティの付与を行う。
- 上記で得た種々のヘリカルポリマーを前駆体として、形態保持炭素化法により一様に配向したヘリカル炭素化物とヘリカルグラファイトを調製し、その物性評価を行うことで、集積したらせん状導電体に基づく新機能の発現を目指す。
- 熱や光刺激によって巻き方向が変化するキラル液晶系を構築し、ポリマーの高次構造やキラル光学特性の制御を試みる。
- 光に応答して構造異性化が起こる部位を導入し、外部光刺激によって超分子構造や発光特性が動的に変化する共役ポリマーを実現する。

### 主要構成員

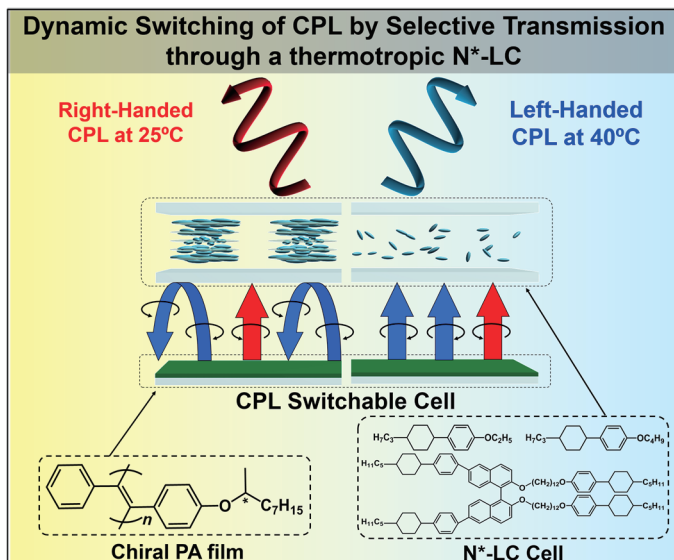
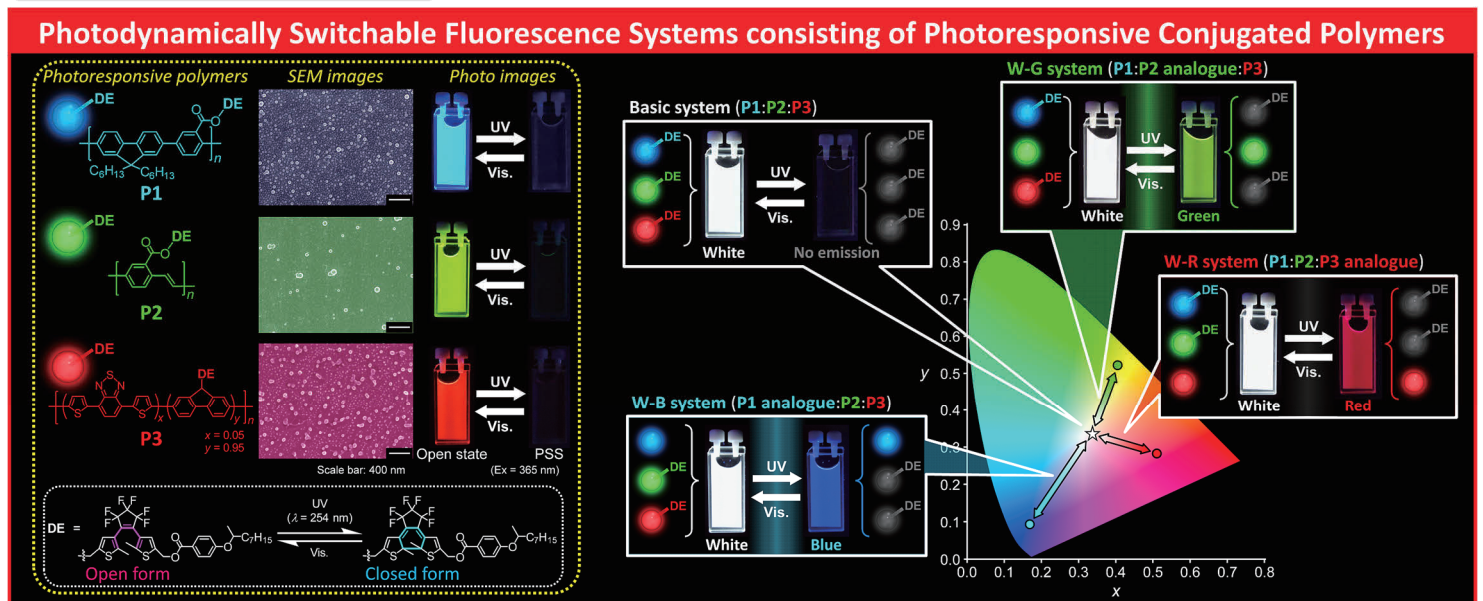
京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻・教授  
京都大学インテックセンター・研究員  
ソウル大学物理学科・教授  
韓国科学技術研究所 (KIST)・先導研究者  
京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻・助教

赤木 和夫  
京谷 陸征  
Yung Woo Park  
高 文柱  
松下 哲士

同研究員  
同研究員  
同研究員  
同博士後期課程D2

渡辺 和誉  
Sangbum Ahn  
Jinwoo Park  
関 柏如

## 平成26年度の主な成果



### 代表的な原著論文のリスト (主要構成員は下線)

- 1) Bu, J.; Watanabe, K.; Hayasaka, H.; Akagi, K. *Nat. Commun.* **2014**, *5*, 3799 (1–7).
- 2) Park, J.; Goh, M.; Akagi, K. *Macromolecules* **2014**, *47*, 2784–2795.
- 3) San Jose, B. A.; Ashibe, T.; Tada, N.; Yorozyua, S.; Akagi, K. *Adv. Funct. Mater.* **2014**, *24*, 6166–6171.
- 4) San Jose, B. A.; Yan, J.; Akagi, K. *Angew. Chem., Int. Ed.* **2014**, *53*, 10641–10644.
- 5) Watanabe, K. Akagi, K. *Sci. Tech. Adv. Mater.* **2014**, *15*, 44203–44224.
- 6) Ahn, S.; Yabumoto, K.; Jeong, Y. S.; Akagi, K. *Polym. Chem.* **2014**, *5*, 6977–6989.
- 7) Matsushita, S.; Yan, B.; Yamamoto, S.; Jeong, Y. S.; Akagi, K. *Angew. Chem., Int. Ed.* **2014**, *53*, 1659–1663.